科目名	創造研究	英文表記	Creative Research	2013.02.27
科目コード	5410			

教員名：全教員
技術職員名：各教員が依頼

作成

対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
生物資源工学科	5年	選択	履修	1単位	実験	通年

科目目標	学生各自の問題意識に沿った創造性あふれる課題研究を、低学年から継続的に行うことにより、実践的な技術者として必要な、総合的な学力を身に付ける。
総合評価	担当教員により違うが、原則として試験は実施しない。レポート提出や関連機関への投稿、研究会での発表やコンクールへの出場等で成果を問うと同時に、創り上げられた作品を評価の対象とする。（１００％）

科目目標達成度とJABEE目標との対応

	科目達成度目標（対応するJABEE教育目標）		達成度目標の評価方法	目標割合
①	自発的な課題設定に基づいて、研究計画が立案できる。(B-1)	⇒	実行できる研究計画が立案できるか、打ち合わせや学生から提出される計画書を通して評価する	20%
②	計画に基づいて実験を進めることが出来る。(B-2)	⇒	毎回の実験と計画書を照らし合わせて実験の進捗を評価する	60%
③	結果を整理しまとめることが出来る。(C-2)	⇒	レポート提出や関連機関への投稿、研究会での発表やコンクールへの出場等で成果を問うと同時に、創り上げられた作品で評価する	20%

本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	生物資源工学
	○	◎	○	○	JABEEプログラム教育目標	B-1、B-2、C-2

評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合

	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他（演習課題・発表・実技・成果物等）	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	20	80	**100**	
基礎的理解						0	
応用力（実践・専門・融合）						0	
プレゼン・コミュニケーション				10	20	30	
主体的・継続的学修意欲				10	60	70	

授業概要、方針、履修上の注意

１　学生各自が、創造性あふれる課題を持つことから、この授業ははじまる。
２　学生は個人もしくはチームで、課題を研究するためにふさわしい教員をさがし、担当を依頼する。それぞれの課題に応じて、教員全てが依頼の対象となる。
３　授業時間は、教員と学生が相談の上、両者の空き時間（具体的には放課後等が予想される）に設定される。教員が直接指導・助言にあたるのは、原則として授業１単位（年間３０時間）に相当する時間とするが、授業の性格上、学生が図書館等で調査研究したり、グループもしくは個人で、レポートや作品を仕上げている時間も授業時間に換算できるものとする。
４　依頼を受諾してもらえた場合には、学生は、所定の用紙で、「課題名」・「担当教員」・「授業時間」等を教務係に届け出る。
５　授業はゼミ形式となる。担当教員は、調査・実験・討議・発表等に関して、適宜、指導・助言を行う。
６　テーマによっては、５年次の自己提案型卒業研究として継続可能とする。
研究テーマ詳細については、各教員の担当可能テーマ内容を参照すること。

教科書・教材

指導教員が提示する図書、および自ら検索した研究に関連する図書など

授　業　計　画

週	授　業　項　目	時間	授　業　内　容	自学自習（予習・復習）内容	セルフチェック
1	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
2	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
3	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
4	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
5	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		

6	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
7	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
8	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
9	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
10	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
11	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
12	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
13	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
14	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
15	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
16	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
17	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
18	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
19	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
20	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
21	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
22	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
23	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
24	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
25	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
26	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
27	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
28	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
29	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
30	創造研究	1	各創造研究テーマ参照		
	学習時間合計	30	実時間	22.5	
自学自習（予習・復習）内容（学修単位における自学自習時間の保証）				準的所用時間（試行	
備考欄					

選択メニュー（案２）↓→

(選択リスト内に該当項目がない場合は自分で追加可能。)

作成・修正日
作成
修正

対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科	全学年	必	履修	1単位	講義	前期
機械システム工学科	1年	選	学修	2単位	演習	後期
情報通信システム工学科	2年			3単位	実験	通年
メディア情報工学科	3年			4単位	実技	集中講義
生物資源工学科	4年			5単位	実習	
	5年			6単位		
全コース	専1			7単位		
創造システム工学専攻・機械システム工学コース	専2			8単位		
創造システム工学専攻・電子通信システム工学コース				9単位		
創造システム工学専攻・情報工学コース				10単位		
創造システム工学専攻・生物資源工学コース				11単位		
				12単位		

本科・専攻科教育目標			
1	2	3	4
○	○	○	○
◎	◎	◎	◎

JABEEプログラム名称
(
全プログラム
機械システム工学
情報通信システム工学
メディア情報工学
生物資源工学

プールダウンメニューの作成方法

「データ」

↓

「データの入力規則」

↓

「設定」タブ

「入力値の種類」を「リスト」に選択。

前期科目は前期部分のみ記述、後期部分は後期のみ記述し、実施期間が見た目すぐにわかるようにする。（開講しない時期は空欄）					